

自分を、家族を、地域を守るため

# 災害に備えて

大きな傷跡を残した7月の集中豪雨。そして、東海地震はいつ起きても不思議ではないと言われています。「自分の命は自分で守る」という心構えで、我が家の防災対策を進めましょう。

日ごろの備えは・・・

- 寝室に倒れそうな家具を置かない
- 家具の固定やガラス飛散防止フィルムを貼る
- 非常持ち出し品を準備する（おむつやミルク、薬も準備）
- 水や食料を備蓄する（水は1人1日3リットル、3日分が目安）

○避難場所を家族で話し合っておく

情報収集は・・・

災害の時は正確な情報が何より大切です。台風などの情報をあらかじめ集めましょう。

地域の絆 自主防災組織

大きな災害が発生した時に、すぐに助けに行けるのは、隣近所の人たちです。自主防災組織で役割を決めておき、訓練をすることによって、自分たちの

## 災害情報を収集する方法

- 防災無線  
(電話で確認もできます ☎@1548)
- ケーブルテレビ可児の字幕放送やテレビのデータ放送
- 市ホームページの「防災情報」
- 緊急地震速報（携帯電話によっては受信できるものがあります）
- 災害時緊急メール・不審者（防犯）情報メール（登録者）  
<http://www.anshin-bousai.net/kani/>
- ぎふ土砂災害警戒情報ポータル  
<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/h>



地域を守りましょう。

市には次の補助制度があります。

- 自主防災組織設立奨励金
- 自主防災組織活動補助金
- 防災施設整備補助金

### 消防団の活動

7月15日に発生した集中豪雨による災害で、消防団は避難誘導・交通規制・土の積み・排水作業など、地域で活躍しました。その後、土田の市道冠水現場に集結して排水作業にあたりました。

また、16日から5日間、行方不明者の捜索を行いました。



消防団が夜を徹して市道の排水作業をする様子

問合せ先 防災安全課

## 住宅に耐震対策を

市は、木造住宅耐震診断事業と耐震補強工事費補助事業を行っています。もしもの地震に備えて対策をしましょう。

### 各事業申込共通要件

- 昭和56年5月31日以前に建築着工された建物
- 市内にある建物の所有者で市税を滞納していない人

### 木造住宅耐震診断事業

費用 無料

申込要件 ○一戸建ての木造住宅（店舗等併用住宅は延べ面積の半分以上が住宅用）であること

○在来軸組工法、伝統的構法又は枠組壁工法によるものであること

### 木造住宅耐震補強工事費補助事業

申込要件 ○過去に市の補助を受けて耐震診断を実施した住宅および木造住宅耐震診断事業で耐震診断を受けた住宅であること

○岐阜県木造住宅耐震相談士が設計および工事監理を行っていること

補助額 最大84万円（補助率70%）

※そのほかにも詳細な要件がありますので、事前に問い合わせてください。



申込・問合せ先 建築指導課